

# キラリ四日市人

老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」を取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。  
CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。  
放送日時：6月11日～7月10日 6：40・20：30  
(土・日曜日は6：40を9：00に変更)

## ○300年以上の伝統と技を守り続ける

江戸時代から「日永の宿」は、東海道と伊勢参宮街道の分岐点（追分）で、毎日、多くの旅人が往来し、賑わっていました。当時、農家で農閑期に作られていた「日永うちわ」は、お伊勢参りの土産物の一つとして、好評を得ていました。明治初期は、十数軒の「日永うちわ」の製造業者が軒を並べる街道文化の最盛期で、弊社も明治14年に創業しました。



その後、鉄道（関西線）が開通するなど、東海道を歩いて旅する人が激減して、街道文化は衰退の一途をたどり、「日永うちわ」の製造業者

は、現在、一軒となりました。製造をやめたら、300年以上の伝統と技が途絶えるので、商売が続く限り、細く長く続けていきたいです。

## ○竹のしなりが生む、やわらかい風

「日永うちわ」は、丸い竹をそのまま柄に使う「丸柄」が特徴で、手に持つと心地よい感触がします。釣りざおにも使用する、丈夫でしなりがある「女竹」を使い、節の間隔が30cm以上ないとうちわにはできません。その竹を細かく割き、交互に袋状に編んでいるので、竹が弓のようにしなります。その竹のしなりが生む、やわらかい風は、他のうちわとは全く違います。



いな がき よし ひで かず み  
稲垣嘉英さん・和美さん

300年以上の歴史があり、三重県指定伝統工芸品でもある「日永うちわ」。ただ一軒の製造業者として、伝統と技を守りつつ、時代にあわせた新たな挑戦を続けている株式会社稲藤の稲垣嘉英さん、和美さん夫妻にお話を聞きました。

## ○守るだけではなく、攻めていく

あおぐだけのうちわなら山ほどあるし、長い歴史があるだけでは飽きられると思い、付加価値の高い「日永うちわ」を開発することを考えました。

これまでに、国の伝統工芸品「伊勢形紙」や県の伝統工芸品「松阪木綿」とコラボレーションしたものや、「日永うちわ」の特徴のかご状の空間に香り玉を忍ばせた「香るうちわ」や「虫よけうちわ」など、心地よさや優雅さを追求したうちわを開発しました。

今後も、世の中のニーズにマッチしたものを開発していきたいです。



## ○風の違いを体感してほしい

うちわは、日本の夏に欠かせないものでした。近年、エコな涼をとる道具として見直されています。

今年の夏は、「日永うちわ」のやわらかい風を体感してみてください。

問い合わせ先

株式会社稲藤

(☎345-1710 FAX347-1379)

有料広告掲載欄



マスコットキャラクター「ココロくん」

LPガスと太陽光発電など、複数のエネルギーを有効に組み合わせ、エコと快適を両立したライフスタイルを提案します。

エネルギーと住まいの  
朝日ガスエナジー株式会社

TEL: 059-332-2311

四日市市西坂部町4789-2

URL <http://www.asahigas.co.jp>

E-mail [info@asahigas.co.jp](mailto:info@asahigas.co.jp)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

## 四日市の 地区自慢

## 八郷

# 「自然・触れ合い」 ～世代を超えた絆を育むまち八郷～

伊坂ダムの雪景色



八郷地区には、自然の景観に引かれて県内外から年間30万人もの人が訪れる伊坂ダムがあります。また、地区住民の触れ合いを目的とした一大イベント「八郷フェスタ」を毎年、開催しています。昨年5月からは、八郷の歴史を訪ねる歴史紹介もスタートしました。今回は、この3点について紹介します。

### 自然・歴史・遊びの宝庫、みんなが触れ合う「伊坂ダム」！

なんといっても伊坂ダムは、自然が織り成す四季折々の景観を背景に、イベントや運動などを満喫できる触れ合いスポット。

ウォーキングやサイクリングを楽しむことはもちろん、運動広場やテニスコートを利用してイベントをしたり、マウンテンバイクや変り種自転車を楽しんだりできます。また、山口誓子の句碑もあり、文化スポットにもなっています。魅力いっぱいの伊坂ダムに、皆さんぜひお越しください。



レンタサイクル所前でピース！

伊坂ダムの景観は、八郷地区ホームページ内八郷百景名作写真展 (<http://www.yasato.org/category/1487354.html>) でご覧ください。

### 子どもから大人まで地域が一つになるイベント「八郷フェスタ」！

思えば市制111周年記念事業として開催したこのイベントも、今年で6回目を数えるところとなりました。

継続する事業の活性化は、どんな行事でも検討課題となりますが、そんな課題に一石を投じてくれたのが、子どもたちの企画・立案によるイベントを中心とした開催への変革でした。もちろん「子ども会議」開催などでの大人の支援はいうまでもありませんが、子どもたち自身が終始一貫して積極的に取り組んでくれた姿にたいへん感動させられました。

皆さん、ぜひとも子どもたちに協力をお願いしてみてもはどうですか！きっと新しい発想に出会えると思います。



「子ども会議」の様子



第5回「八郷フェスタ」の様子

### 八郷の歴史を訪ねる「八郷の歴史紹介」をスタート！

「地域の歴史について知りたい」「教えて欲しい」といった言葉がよく聞かれるようになりました。これを機会に、昨年5月、残存資料や聞き取り調査結果などをもとに、後世に語り継がれる「八郷の歴史」冊子の発行を目指した活動を開始しました。

詳しくは、八郷地区ホームページ内八郷歴史研究会 (<http://www.yasato.org/category/1840499.html>) をご覧ください。



広報ひとみ掲載「八郷の歴史紹介Vol.1」

#### 問い合わせ先

八郷地区市民センター  
(☎365-0259 FAX363-1741)

#### CTYインターネット

## 新サービスCTYタブレット

パソコンを持っていなくても  
タブレットで手軽にインターネットを楽しめる！  
お得なサービスが登場しました！

※CTYタブレットのご利用にはCTYインターネットサービスのご契約が必要となります。詳しくはお問い合わせください。

【受付】月～土(祝日除く) (窓口)9:30～17:30 (電話)9:00～19:00

0120-30-6500

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

有料  
広告  
掲載  
欄

